

夏期海外研修報告 ～カナダ、韓国研修～



目次：

夏期海外研修報告 P1
カナダ、韓国

第12回聖学院大学留学生日本語弁論大会が開催される

ヴェリタス祭でも留学生パワー健在！

春期海外研修特集 P3
～オーストラリア
ディーキン大学研
修報告交換留学生紹介 P4
アメリカ・ホープ
大学 マッケン
ジー・コイルさん留学生在籍状況 P4
お知らせ

啓明大学校 韓国語と文化コース

コミュニティー政策学科3年(留学時2年)

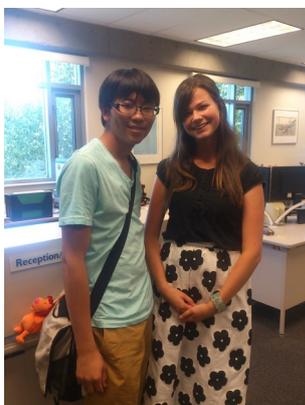
高梨 瞳さん

私がこの研修に参加しようと思ったきっかけは、「日本以外の文化に触れたい」という好奇心からでした。韓国語は授業で専攻はしていたものの、読み書き程度で、会話は全くできませんでした。啓明大学校は都心から遠く、日本語も通じないため、韓国語を勉強するにはとても良い環境でした。最初は友達と馴染めず苦労しましたが、毎日ずっという自然と仲良くなるもので、夜は一緒に宿題をやったり、夜中まで話をしたり、部屋に泊まりに行ったりなどだんだんと打ち解けることができました。

午前中に授業が3時間、午後には文化体験が2時間でした。学校が終わると、学校の前が栄えているので友達とカラオケに行ったり、ご飯

カナダ/ビクトリア大学
イングリッシュ・ランゲージ・センター欧米文化学科2年(留学時1年)
途崎 恭輔さん

今回の留学は私にとって、目標を達成する場であり、多くの人たちと交流する場でした。留学は初めてではなかったのですが、カルチャーショックや時差ぼけはなく、到着したその日から大学内を散歩するなどとても有意義な日々を送ることができました。研修期間中は、寮生活で、授業は月曜～金曜まで全て午前中に終わります。



お世話になったスタッフの方 午後は学校のアクティビティに参加することを通して自然を体験したり、ビクトリアの美しい街を満喫することができます。クラスは、留学シーズンという事

もあり、多くの日本人がいました。私のクラスは、18人くらいで、サウジアラビア人、ブラジル人、イラン人などがいました。授業中は日本語禁止、辞書は英英のみで、席に座っていることは少なく、常に動きながらいろいろな話題について話し合いました。そして、考えても分からないことは、先生が分かりやすく教えてくれ、授業は、とても楽しく充実していました。放課後が空いている時は、友達や現地地で知り合った人と出かけたりして、町に出れば何でもそろうので過ごしやすかったです。ビクトリアは治安が良く人々は親切で、自然が多い所です。もし、海外に興味がある人たちはぜひ参加してください。海外に行き、様々な人々と交流することによって多くのことが学べます。海外に行ったら後悔することは1つもないと思います。



クラスメイトたちと



チムジルバン体験

を食べに行ったり、買い物に行ったりしました。週末は電車に乗って市内に出たりもしました。文化体験では様々なことを経験させてもらいました。中でも私はチムジルバンがという、日本というサウナと岩盤浴の間みたいなものがお気に入りでした。92度の窯に入りたくさん汗をかき、とっても気持ちよかったです。日本にも早く上陸してほしいと思いました。

3週間という短い間でしたが、先生や韓国の学生のおかげもあり、語学力やコミュニケーション力、日本では得ることのできない文化や価値観の違いなど、様々なことを学ぶ事が出来ました。他の大学の友達や韓国の学生とは今でも連絡を取り合う程の仲になることができました。本当に楽しく、また行きたい！もっと韓国の文化に触れたい！と強く思いました。この研修に参加できて本当によかったです。



お世話になった韓国の学生たちと

第12回聖学院大学留学生日本語弁論大会が開催される

12月3日(水) 聖学院大学チャペルにおいて、第12回聖学院大学留学生日本語弁論大会が開催されました。予選で選抜された8名が「私の異文化体験」「未来の私」をテーマに熱弁を奮いました。

学長賞を受賞したのは、コミュニティ政策学科3年のキョウ・チクキンさん(中国)の「夢は掴むもの」。日中友好の懸け橋になるという夢を掴むために、日本で中国語の教師になっている10年後の自分の姿を明確に言葉にし、未来をしっかりと見据えた表情で語ってくれました。第2位「日本語教育委員長賞」を受賞したのは、政治経済学科1年のチン・ショウテイさん(中国)の「良い所と もっと良くなる所」。4年にわたる留学生生活を通して「人を助ければ、自分も嬉しくなる。人に怒れば、自分も暗くなる。」ということを学んだ経緯を、優しい笑顔で語ってくれました。第3位の



本選
出場者



「国際部長賞」を獲得したのは、政治経済学科1年のチェンディキア・ダルマ・パトゥリアさん(インドネシア)の「夢の変化」。成長の過程で自分自身の夢から国を思う夢へと広がっていった「夢の変化」を幼虫が美しい蝶になる様に擬えて分かりやすく話してくれました。

大会の締めくくりに、清水正之副学長(当時)より「この大会を通じて確実に日本語の力を伸ばされていることが良く分かり、大変誇らしく思っています。」との講評をいただき、参加した留学生に会場から惜しみない拍手が送られました。

〔学長賞〕

コミュニティ政策学科3年 キョウ チクキン
(QIAO ZHUJUN/中国)
「夢は掴むもの」

〔日本語教育委員長賞〕

政治経済学科1年 チン ショウテイ
(CHEN SHANGTING/中国)
「良い所と もっと良くなる所」

〔国際部長賞〕

政治経済学科1年
チェンディキア ダルマ パトゥリア



学長賞を受賞したキョウ チクキンさん
(CENDIKIA DHARMA PATRIA/インドネシア)
「夢の変化」

〔健闘賞〕 (順不同)

政治経済学科1年 サイ ギョクキ
(QI YUQI/中国)
「目標を明確に歩いていこう」

政治経済学科2年 ゴ ガクテイ
(WU YUETING/台湾)
「未来の私ー人生は七転び八起き」

政治経済学科1年 ファム フォン ブーン
(PHAM PHUONG DUNG/ベトナム)
「私の夢」

日本文化学科3年 リン コウソ
(LIN GUANGZU/中国)
「私の未来」

日本文化学科1年 グエン トウ アン
(NGUYEN THU AN/ベトナム)
「私の未来ーグローバル人材」

ヴェリタス祭でも留学生パワー健在！

10月31日、11月1日にかけて行われた「ヴェリタス祭」では、昨年に引き続き、「国際交流同好会まのと」が展示参加しました。今回の出し物は『まのと文化体験館』と題し、「まのと」の活動内容を展示しつつ、「まのと」代表を務めるゴ・ガクテイさんの出身地の台湾映画を上映しました。上映された映画は『海角七号 君想う、国境の南』(2008年)と『言えない秘密』(2007年)の2本。特に『海角七号 君想う、国境の南』は、戦前の日本統治下の台湾での出来事から始まる物語で、日本と台湾の間に繰り広げられるドラマがテーマになっており、日本と台湾がいかに近い存在であるかを感じさせてくれる作品でした。会場には日本人だけでなく、中国やマレーシアの友人たちも訪れ、軽食をとりな



まのと文化体験館の様子

がら、一緒に映画を観賞して、楽しいひとときを過ごしました。

聖学院大学で学ぶ留学生は200名以上おり、学内で国際交流を図るチャンスに恵まれています。「まのと」のような活動を通して、さらに国際交流の輪が学内外に広がっていかればと願っています。

国際交流同好会「まのと」

顧問の先生:熊谷芳郎 先生
メンバー:10名
代表:ゴ・ガクテイ(台湾出身)
活動日:毎週木曜日



オウさん、リュウさん、ゴさん

春期海外研修特集～オーストラリア～



ディーキン大学 Deakin University English Language Institute (研修期間:2015年2月12日～3月22日)

欧米文化学科2年(留学時1年)

田近 明日佳さん

私は、今回の研修が初海外で初ホームステイだったこともあり、出発準備や飛行機、ホームステイ先でのコミュニケーションの取り方などわからないことだらけでした。しかし、いざ行ってみたら何



コロンビア・台湾からのお友達と
(一番左が田近さん)

とかなってしまいました。もちろん、いろいろな人の支えがあったからこそ今はこうして言えますが、慣れるまでは少し時間がかかったのも事実です。

特に初日から一週間にかけては最初の山でした。ホームステイ先でのコミュニケーション、英語しか使えないことでの不安、いろいろな国から来た留学生との交流…とにかく慣れるまでが精一杯でした。しかし、ディーキン大学のハンナ先生やナンシー先生、ホストマザーや喜田先生などのサポートがあって、二週間目からの生活はすごく充実していて楽しかったです。

授業に関しては、日本と他国の授業スタイルや性格の違いがはっきりと表れていてとても勉強になりました。例えば、日本人の多くは授業中受け身で

すが、中東近辺出身の学生はとにかく英語で発言していました。日本人はよく静かだと言われますが、本当にその通りでした。研修に行く前までは威勢よく“英語たくさん話すぞ!”と意気込んでいましたが、いざ授業中となるとなかなか発言できなくて驚きました。“ああ、これが文化の違いなんだな”と改めて認識しました。もし、参加しようか迷っているのであればぜひお勧めします。必ず何かしら得るものがあります。

教会で牧師さん&友人たちと



グレートオーシャンロードです!



絶対に会いたいと思えるようなすばらしい友達にも出会うことができました。英語に対する姿勢も変わり、日々の努力がとても大事だということも改めて思うことができました。話せるようになりたい、聞き取りがもっと上手にできるようになりたいと素直に思います。次にもしオーストラリアに行く機会があれば、ホストマザーや学校でお世話になった先生、そして友達に会いに行つてその時伝えられなかったことを全部伝えて、変わった自分を見てもらいたいと思っています。

欧米文化学科2年(留学時1年)

長谷川 のはらさん

2月12日から3月22日までの約5週間、私はオーストラリアにあるディーキン大学へ語学研修に参加しました。この研修

に参加して自分に足りないもの、伸ばさなければならぬものが明確になりました。それはコミュニケーション能力、そして最も大事な英語力でした。英語がもっと話せれば苦労せずに楽しむことができたことがたくさんありました。例えば、自分の言いたい事、伝えたい事を日本語ならすぐ



パーティーでの思い出

に伝えることができるけれど、英語でとなるとすぐに言葉にすることができず、悩むことがたくさんありました。しかし、私のお世話になったホストマザーは「気持ちを伝えることはとても難しいけれど伝えようとしないと何も伝わらない。文法は合ってなくても話すことが大事」と言ってくれ、その言葉を

聞いてから、積極的に自分からクラスメイトに話しかけるように努力しました。そして相手が理解してくれて話が続いたときは本当にうれしくて、英語をもっと話せるようになりたいと思いました。これはこの研修に参加したからこそ思えたことだと思います。

現地で外国の友達もでき、授業も放課後、休日も、本当に毎日が充実していたので、最初は5週間が長いと思っていましたが、実際に行ってみると、あっという間に終わってしまいました。帰りたくないと言っていました。それはこの国の人が優しいからだと思います。バスに乗るとき運転手は必ず笑顔で挨拶をしてくれたり、街中で道を尋ねるととても親切に説明してくれたり、日本ではできない経験、この時期に行ったからこそできた経験がたくさんありました。そして、また



担任の先生&クラスメイトと

交換留学生紹介～マッケンジー・コイルさん(日本文化学科3年)



4月から聖学院大学でアメリカ提携校であるホープ大学より交換留学生として留学中のマッケンジー・コイルさんを紹介しません。

マッケンジーさんはホープ大学から初めて派遣された留学生です。こどもの頃から色々な国の文化・歴史に興味を持ちながら育ち、ジブリ映画などを通して日本文化に親しんでいましたが、10年前にお父様の友人でホープ大学で日本語の先生をされていた方との出会いをきっかけに、日本への興味が次第に大きくなっていったとのこと。留学先として聖学院大学を選んだ理由は、交換留学生の滞在先としてホームステイがあったからで、日本語を学ぶために良い環境だと思ったからだそうです。日本で行ってみたい場所は富士山、日光で、日本

にいる間に宮原のお祭りに参加して、日本の文化に体験してみたいとのこと。アジア文化全般に関心があるので、今後は日本語だけでなく、中国語や韓国語も学び、アジア全体に目を向けてゆきたいと思っています。当面の目標として、来年5月にホープ大学を卒業する予定ですが、卒業後、JETプログラム(外国語青年招致事業)で来日し、2年間日本で英語を教えたいという希望を持っています。そして、将来はアメリカの大学院に進み、学者になるのが夢です。

今回の交換留学プログラムは春学期のみなので、もうあまり長く日本にいられません。キャンパスで見かけたら是非「マック」と声を掛けてください。お友達になれたら嬉しいです。

ホープ大学(アメリカ) Hope College (U.S.A.)

聖学院大学との提携:2008年
大学の場所:ミシガン州ホランド市
創立:1866年
学生数:約3,200名



アメリカ提携校・ホープ大学からの交換留学生
マッケンジー・コイルさん

外国人留学生国別在籍状況

	国籍名	合計		国籍名	合計
1	中国	176	8	スリランカ	1
2	韓国	6	9	ミャンマー	1
3	台湾	2	10	インドネシア	1
4	ネパール	8	11	セネガル	1
5	ベトナム	37	12	メキシコ	1
6	マレーシア	2	13	タジキスタン	1
7	タイ	2	2015年5月1日現在		239



お知らせ・イベント

- 4月 入学式
新入生 留学生ガイダンス
新入留学生歓迎会
- 5月 夏期海外研修締切・面接
- 6月 国際交流会
- 7月 夏期海外研修準備講座・準備会
- 8月 夏期海外研修
- 9月 秋入学生 留学生ガイダンス
春入学1年生・新編入生
留学生ガイダンス



SEIGAKUIN UNIVERSITY

聖学院大学 国際交流・英語教育課

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号

2号館1階 2103

TEL 048(725)2801 FAX 048(781)0094

Email: kokusai@seigakuin-univ.ac.jp

窓口受付時間

月～土 9:00～11:10, 12:10～17:00